孫文の銅像も今は淋

開封無電合にて

條約違反等では

見當違ひの

の冷凍

馬頭鎭要塞陷落の

N M 日十 印稿費 刷輯行 XXX 水松十

ター

介勇忠 〇五社 嚴遠鏡區

心洲司長に任命楊前駐日参事官 華中水電公司

廿九日創立總會

(上海廿九日發國通) 電力份

十二元版版型 発展した 1の多の中 単準にデ

 「香港サ九日登園通」わが軍の進攻により刻々脅威を受けつ」ある漢口市内 「香港サ九日登園通」わが軍の進攻により刻々脅威を受けつ」ある漢口市内 「香港サ九日登園通」わが軍の進攻により刻々脅威を受けつ」ある漢口市内 「香港サ九日登園通」わが軍の進攻により刻々脅威を受けつ」ある漢口市内 物狂ひの足搔きを見せてゐる 名義で香港の外國銀行に預金されてゐるのは奇怪とされて

骨董品の賣上げを預金

南國政府は日本海軍が海南島 を占領することあるべきを愛い を占領することあるべきを愛した はかよる共同警告は未だ接受 してゐない、唯數目前アンリ してゐない、唯數目前アンリ してゐない、唯數目前アンリ

日英大使も二十七日外相との ・ 日英大使も二十七日外相との ・ に出ることは理解に苦しむと ころであるとしてるる、即ち 一九〇七年の日佛協約は海南 島間題には具體的に觸れてを 島間型には具體的に觸れてを

對日支經濟援助 英下院で質疑應

日支經濟援助問題につきたの 知き質疑應答が行はれた 別となり、 を結りた難等が行はれた 要の行動、者くは関係協定に を持ちした難等の間の職別の でも機會なれば聯盟 の行動、者とは長い間の の行動、者とは長い間の の行動、者とは長い間の の行動、者とはそれ以前 の行動、者とはそれ以前 の行動、者とはそれば聯盟

賀屋輿

▲命木馬之助氏(木材商)同人の本高文氏(東渓金栗常務)

マルンリン議員 信相は現状 シース官 おびねの歌は、 マルンリン談員 経濟的要因 こそは戦争の最も重大な原因の一であり、従って右に 関しのであり、従って右に 関し政府も後来とつたより リレンリン 首相は 関しており でに下院で言明 した。 でに下院で言明 した。 でに下院で言明 した。

百貨店 製品販賣禁止 するに内定したという回前総相質量によって一名鉄

チュンバレン首相 しかり 百顕問に

日打一體の職時

太龍西島三氏(東西)

同

D 30

元ケ年計量再修正へ、特勢

,日

特選宣

帰タオル進物用賣出 靴下。ネクタイ。箱入賣出し 夏のハンドバック均一資出し 進物用化粧品詰合箱賣出し



進物用少 うすもの 华 吳服中元奉仕 服 物 賣 出

「どこよりも豊富な品種」 中元御贈 味、新鮮、中元の贈物に何より宣 新鮮な食料品 箱入シャツ.靴下.ネクタイ 煙草.化粧品.石鹼.交房具 ワイシャツ・ハンカチーフ・タオル…一階 吳服類·婦人·子供洋裝品· 半襟小物…二階 美術品·室內調度品·食器· 檔氣器具…=R

京を引揚げ適口に赴いた東那 大英館参事官楊雲骨氏は1八 日間を以て外交部膨剔可長に 外交部の最重要部門であるが 外交部の最重要部門であるが 外交部の任命されたことは各種

日書記官

海南島占領を恐っ

を引揚げた油駐日支那大使館 附二等書配官楊雪林氏は、上 れてゐたが、廿九日午前十時 エム・カナダ號で漂然神戸に

同民は國民政府に對する去就については何尊歌して語らなかつたが、反將的精神から同れ、一先づ同船でホノルルに対き約一週間滞在の後再び日

月度では、 一月度では、 一月度では、 一月度では、 一月度では、 一月では、 一日では、 一日で

四本(氏 (同) 同中央ホテ ・ 本が記載氏 (同) 同 ・ 大倉親義氏 (同) 同 ・ 大市 (日) 日 ・ 大

《鄭氏(商集)同 ※

八(官吏)同二氏(商業)同二

「吟味せる品質」な廉い値段」にお中元サービスの最善を期して居り ます

- 進氏(會社員)同向腸 ナ宗吉氏(雑航)同

氏(官吏)同國際ホース(官吏)同國と、(同)同国の政権、(同)同

*我が意向

非友好的態度寧?

英米にあ

デバートは無地色物等網製品でしているとうない。

▲ 富美一郎氏 《報酬愛民會》 同 同 「同 「同 「同」 「同」 「同」 「同」 「同」 「同」 「同」

△朝鮮一道常郵便書 徒後、葉書十二銭、 往信返信各別に十二銭、 被案書二十四銭、其他五十 (被案書二十四銭、其他五十 (被案書二十四銭、其他五十 (被案書二十四銭、其他五十 (大連新義州間—近常郵便書 が、工庭以内 下上段内 下上段内

大野 祭職管下警察官の中央警察學 十七、日文十 ・ 大本科生は左の四氏に決定、 ・ 大本科生は左の四氏に決定、 ・ 大本のった ・ 大本の一名 ・ 大本のった ・ 大本の一名 ・ 大本

震源地は案外近くか

派遣の四

歌曲) 滿文二

▲七・三〇特別講真(新京) 「CY京)本八・〇〇湾語「手向のかむり」審風等柳枝本八 二〇講談「田世の郷」練田ろ山本八・四五襷談本九・一〇

今晩主なる放送

本日治安本令第三七號により 百都響祭門官下各響楽譽管轄 風域の變更が を が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新築移轉した結 が異仁大路に新東移轉した結 が異に不便であ が異に不便であ が異に不便であ

作映畫封切

機搭乘抽籤券贈呈等

から賑々

算盤ある處ボ

待望の實業野球

三中井の 三中井百貨 でを間答案 物を摘へとりがに依つて全階ループガーリッ共に午後十時までを間答案 を持ちて

第四回大會シーズン近し

速達郵便宣傳

週

精神作與建國

體操會

懲よ明日午

前六時半から

警察機能十分

警察管轄區域變更

近み休夏◇ ◇……見所場選西…… 〈 0

力 各都市對抗軟式 起球大會に出場の選手一行は 七月二日午後十一時四十分の 列車で必勝を期し勇躍出設す ることゝなつたが、一行のメ

3

関民率仕中央訓練所開所式は 同日午前九時半から建設現場 同方で開係者多數出席して零 行されることとなった

四日午前中學行

勞働率仕建國廟の鍛入

新京代表選手二日夜出發 三日鞍山で 日に受ける者は下準備の為 出、新京、 れたいと、同所で徽章を渡し れたいと、同所で徽章を渡し 得ず昨日申し込みを締切つた員の盛沈苺島の都合上やむを 特殊防護團 上好適の他し

薬器十銭、其他十銭、

五川川田

一起以內二國三十

協和會特殊防護團の納成式は 一會議室で舉行され先づ呂組 機科長閉曾を宜し、颶員の氏 名競表あつた接橋本部長訓示 あつて終了したが、協和會で は國民組織の總本部であるだけに全市各特殊防護團の師表 たらしめるべく大いに力瘤を たらしめるべく大いに力瘤を

富士山頂に

(御殿場國通) 富士山頂

福湯してある頂上鶴ケ峯下コ 選雪は跡方もなく解け麓の各 残雪は跡方もなく解け麓の各 残雪は跡方もなく解け麓の各 なつたの関山を前にお山の新名物と シロ地が大湖水となり一日

話②五六二四番

ル・費山百貨店前

關東軍屬託合氣武道熟富木 華燭の典 土佐林氏 林忠夫氏 林忠夫氏は

九日午後五時新京神社に於て井崎於遠彦氏の媒酌により廿 さん(廿一

飯店で披露宴を行つた結婚式を擧げ同七時より國都 北滿へ出發 前田要港司令官

但

世に住込本人御来店下されたし

新星及墨表替の御用は 電話②五一七八番 大経路二六號

察の途についた 察の途についた

鈴木應信氏來京

△皇は探稚別 趣園 図、多會者に圖解を配布し初 へ一日本人が訪れ無言のまとで開始前一同指揮者の號令に 三十日午前中、四道街警察署 会と配したものが封入しあり有聯盟新京事務局體操部に 本社に國防献金として客託 変鳴 を本社に國防献金として客託 なら であった。 着は去る十八日午 ると 後一時頃、同署北大街派出所 ると

軍で東京した 高銭大連工場庶務課長鈴木鷹 市民は新京西公園に建設され をめ三十日午前八時十分の列 であ三十日午前八時十分の列

優

秀

9

二周年記念 開 ば 3

寶生流の方々

都合上やむを 學行 【東京國通】州日午前二時二 麻布島井坂に

来の崇雨のため突如火音響と おった人家約十八戸を一瞬に とて土砂中に埋沒し約八十餘 名の男女を生埋にした、急報 により六本木署、麻生消防組 により六本木署、麻生消防組 中迄に發掘された死者は十一 年後に発掘された死者は十一

法院組織法

左の行事を領施する 一周年記念行事 一周年記念日に當り

一、大經路角與和ビ 新要時間一時間見込 所要時間一時間見込

造作電話付 の場所至急讓度し

電話呼出③五四三七番田

技 二割引週間 自七月一日至七日

三の四町野吉六〇五二③電

タイプ印書 謄寫・ 代書 ビル食堂 女給さん入用 電話(3)四四一五 野田

日より十五日まで

力の密を競揮した 大臣質授賞順間に入るよ

かぜとう格本数

▲第二部國民歌謠一等一篇お

見習看護婦募集

年齢十六才より二十才までの健康な 希望者は左記へ側面談下さい る女子にして身元保證確實なる者 室町二丁目十三番地(公學校前)

院

家庭教師を

三、御希望條件二、

一、御住所 二、御子樣の年齡 新聞記下さい、委無面談 御帝望の方は書面にて新京日《新聞記版告郑晃公龍の通り 御申込下さい、委無面談 一、當方專門學校出身、中學教員/無一、當方專門學校出身、中學教員/無 お求めの 方

中華民國山東省芝罘海關街九號中華民國山東省芝罘海關街九號 麗人撮影コン 與行天津東告送景祇出所東左毗に設置し七月1日 芝罘派出所開設廣告 六月三十日 より 七月三日まで 眞

寫眞展

日 。 郎太金上井 督監

上山衛原

米草敏章

最上近小珍

(E)

衛見・粉・ガ くなるよう なる子は

赤くなる。

米に変はれば

牛 建 先 甲 金 宿 負 午 曜

望かり 社スト

セン 演共 子光戶水・伸寺大徳・衆智 笠

夫 英 本

期

映画御果内

病

吸器病

0

の購入幹

校

映畵の

西宫稻山

础— 鄭夫浩真

川垣伊

ニュース 2.10 5.08 鼻唄を輝さん 君と踊れば 12-16 3-05 6-6 10-30 階下四十錢正午迄三十錢

総情夫人 上原謙川崎弘子主演 上原謙川崎弘子主演

R•K•O•大每 同盟	12.00	3.24	6.45
伊太八稿	12,56	4.00	7.20
用園交響樂	1.32	4,56	8.16
R•K•O•大每•同盟			10.32

来週八日より 大型大子ンの 大型大子ンの

3

亭

to o	L	è 6	容	11.30	3.21	5.10	8.10		子可把移
歌	古	行	燈	1.52	3.42	6.32	9,32	どづ	版右屋 华
=	2	-	ス	2.10	5.00	7.50		りる人時	門衛より
-11	九日」	り六日		B	管下 -	七十	"健·	演上	森蘭
		9//	7.		///	W.	///		///
- 1	-				-		1		
								E	F LE
			1 10	00 3.3	n - no				'нш

子英內坪。

出世太閤記 立くなか。 噫 小澤田清主 友 工 豫 朝友 田桐 田精生演日 告 伍 座長鳶

=	2	_	ス	11•50	2.25	5000
7	(ts	美	くなよ	12.10	2.45	5 • 20
足	輕	大	名	1.15	Se5)	6 25 9.05
=	2	-	ス			10.10

代春川市·介之龍形月即壽寬

田明 田松文達茂倉山禮米 村上川川川川部 一二 中太照文一八 一之太 隱 華良之三文五 子郎 才郎夫男郎郎劇郎輔郎讓慶喬丈介祗郎治郎

ね出大日出乗熱

!!京

t

华

期

超

豪

ば世作活

1

ぬき

味の

篇是

非

のを灼

世別す

!! 波豪

3

瀾快

萬な

丈戰

の國

英の

傑ス

- 1

代ル

譚る

F	パアチャロ		2.02	4.45	7-22
F	朝日富貴ニュース		2.0:	5.04	7.44
五十	姉ごころ	12.00			
盤	夢の長次	12,53	3033	6.13	8.53

御靴

御相談は

タケ

靴店

微

五二三六

映画

は

話

四相談の電は

新京卡木マ 日より30日まで

るべく

街

初委出世街道 12.21 8.58 7.42 潮來追分 2005 5051 9037 階下 三十錢 廿八日より卅日迄

今般嘗ての同。 生より盟邦補州國に 生より盟邦補州國に 主した何卒御利用下さい 学由電子とシンセン療法。 一、KS綜合光線治療 一、佐部病、呼吸器病生殖器科 が外科、婦人科、小兒科、神 エス科、眼、鼻、硬結症、 エス科、眼、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 が、鼻、硬結症、 支民 部保工 長健和

は

豊子に入り

豊子

云ふ

E

y

人と一

En

あ

6.

た来しつ

かし

すら

一千五百

0

0 To

五月

がこの惚

75

療法講習 中經

· 武藤浩三郎 僧新京支部 蠅 ららし情外青 いれ外い夫山年 ロた山、人に社

4

白畠

が

決するでせ、 して二人の#

かい有甘仲閑

せの甘

0

8

か

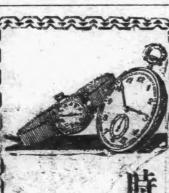
き事

00

起り

のはれ

の後直りよ地産生 は店賣康最 會商滿新 李二四六四(2)話電



計を生かすは 何回修繕しても 度當店に御相談下

の力 (描四院育發育)二四通和大 ディモグモグモスモスモスモスモスモスエスモスモスモス 月二日 封切 長

新 婚 だは長 つ信外 で山 活 い郎 の裏表 3 多子とは は 親 5 友でありで 食事が現事を現る なも マ小共はなて

劇喜輕樂音るなに畵企新たつ沿に線策國る贈に月六の葉青が川摩多活日 南田血×作源 く覗を密秘の婦夫婚新 テ映日 均〇一錢

9

小三三

北蔣各鐵道沿線主要地藏物在北蘇經調《查六月中旬末現在北蘇經調《查六月中旬末現在北蘇經濟

満鑛業、畜産工業林

各方面の支援によってこの程 現地調査中であつたが、現地 であったが、現地

一般貨物の荷動状況、配船状況・電船が加へられた結果左の如き施が加へられた結果左の如き施育に移すことを申合せた。 電行に移すことを申合せた 強調金の措置として事情の許す限り軍よりの融通を陳前すること

が思ってないの。

清プ

本薩夫

電 ③ 3839

篇雄・高品氣。ドイジ豪文。綴に曲名のンェヴートーベ」漂寂静。號怒

海外經濟電報

研放 財無 法所

と明なかった。 お前はまア、其方へ引っ込 であなさい。奥さん方、何 なく面目次第もありません。 会く面目次第もありません。 がういふわからずやで御座いますから、ごうぞ失縁なこさを申しましたのは、御勘郷下さいました。

和智集のごころなぞへ、何に が恋く同ひましたご祝じます すが、子供が かかい ました。本望が、子供が かっことはある がかい ここはある がかい ここはある かかい ここ はある かい ここ はある かい ここ は いい ここ は いい ここ は いい ここ は いい に かい ここ は いい ここ に いい ここ は いい ここ は いい ここ に いい ここ は いい ここ に いい こ に いい ここ に いい こ に い

が心強いこさ をそれ程にお

黑

111

高

賃

助

主演

遊びをして

長谷川伸の傑作「伊太八縞」の映畵化。

巾着切りの生活から

K

0

東京株式

つぼり足を洗った伊太八と小唄の師匠を俊のやきつくやうな 伊太八をそ」のかす悪の呼聲。之は近頃にないすつき

東 實 長 京 都 M 特 時

映

大每同盟

色脚

譯飜…弟の作束)

見られ頗る注目されてるる。見られ頗る注目されてるる。

近く管下異動發表

家、雨漸く 退散 年振りの暴威を振つた豪雨も 一年振りの暴威を振つた豪雨も 一年振りの暴威を振つた豪雨も 一年振りの暴威を振った豪雨も

特院講堂で服委員長以下全委員長の挨拶あつて谷幹事長は今日までの委員會の議事經過 今日までの委員會の議事經過 大第および要綱を上程可決し 大第および要綱を上程可決し 大第および要綱を上程可決し

満州関郵政總局速達郵便電 一周年記念映勘會は一日(議 一周年記念映勘會は一日(議

放送局

夏期大學

一日か

ら開設

情をうけ入場されたいと 寄野政局窓口にて招待券の姿

坪嵩り七石五斗といふ大記錄からの降雨量は四百十二ミリ

北村西望氏作の

建國勇士の像

軍司令官邸に

輝

滿鐵用度次長制

化各方面の機蔵

徐州散革の英霊 合同慰靈祭

を開設することと 一五分より七時迄 一五分より七時迄

以上を集め大長會職の結果が全済各省特別市大長會議をおった職屋副市長は三十日午時へた職屋副市長は三十日午時に全職科学に全職科学に全職科学に、大長・自議をおった。

用度部購買課長

しその態度は疑惑の限をもつ に演り危しとの情勢に同せ入 に演り危しとの情勢に同せ入 に対する。 ではいるなどころ、すで に演り危しとの情勢に同せ入

(を命ず 尚大

大城縣土浦 全町水浸し 伊川堤防決潰 (土浦國通) 茨城縣土浦町は 廿九日夜約二里上流で櫻川堤 野決潰し、卅日午前等時に至

の不通をはじめ炭防の決済家屋の浸水経ぎなど随所に被害を変ったが、密都で最も被害の参かつたのは離布国三井高の多かつたのは離布国三井高となつて死んだもの廿名に上

(日 曜 金)

引揚げを命

数がすでに實行に移されてゐ ・ 際調係が頗るデリケートとな

鏡塘江南

和青年園、景

長村地區對策、前艦、防衛法、

總協

の部下だけにその動きは注目

せぬが、 関民政府をめぐる 国の の 意見が行はれるか否か判明

本格的機能發揮

他貨物船も引載さ出れを見合せてゐる

首警人事刷新

がコーラ駐支大使の更迭を断の召還に次いでイタリー政府

AL AL 44

【頁二十刊夕朝紙本】

敵幹部の野宴場

陸軍機、掃射の饗應

事顧問の引揚げ決

福度の不満を声に関係し 見切をつけたものと解釋をなし、これに對抗すラウトマン大使に對しても今回突如麟還命令が度の不満を表朗し、契約關係に種々の文句をつ の社任を差止め前駐獨大使程天放の歸國を促しつゝありこれにより獨支 表されざるところからドイツの對支態度が決定的に變革を來し敗嚴國府 切並に訓練上の重大不安を招來したので蔣介石はヒトラー總統の態度に 切がに別様との重大不安を招來したので蔣介石はヒトラー總統の態度に 関連に別様との重大不安を招來したので蔣介石はヒトラー總統の態度に 関連に思化しつゝある、ドイツ軍事顧問の引揚げは作職上の頭腦の貧困

日本の立場選化せん **對支獨伊關係事實上解消**

トマン獨大使、コーラ伊大使と言葉少なに語り總督官邸にと言葉少なに語り總督官邸にと言葉少なに語り總督官邸に

引起、これは は、上海州日愛園通3 修験報道 部州日正午愛表―(一)廿八 日南昌飛行場を攻撃、飛行場 施設の外場内にありし散機三 神南支一帶密雲低く時々雲雨 中南支一帶密雲低く時々雲雨 を伸ぶ、揚子江方面において を伸ぶ、揚子江方面において 揚子江岸を

江上装製に協力上流江岸を選 整多大の損害を異へたり(一) 職海線海州附近に震動せる後 耐を爆撃殆んど潰滅的打撃を 奥へたり

の 義山附近の草環に関陳を作つ 近衛首相 評養 が 野家最中の敵兵幹部数百とわ には出席せず解義中である が 野家最中の敵兵幹部数百とわ こは出席せず解義中である 派 当年 「一井ンか 」 「一井ンか 」 「一井ンか 」 「一井」 「一大学の 「一大学の 」 「一井」 「一大学の 「一大学の 」 「一井」 「一大学の 「一大学の 」 「

・ 計八軍劉建諸軍幹・ は機構工商岸地區に・ できる。・ できる。・

三井ハル 送局長に築轉した三井雷雄氏 送局長に築轉した三井雷雄氏 送局長に楽轉した三井雷雄氏 ため三十日本社 不訪

公戦を承認

植たい、 をいには夏も休ます、肝油=ハサバを選曲をいい、 をれには夏も休ます、肝油=ハサバを選曲をいい、 がでいるといったが、 がでいるとものです。 をおいて下さい をいには夏も休ます、肝油=ハサバを選曲を がでいるとものとを、充分に がでいるとものとを、充分に がでいるといったが、 を連絡し、かぜ引かぬよう、 解論に 対して、ヴィクミンAとDとを、充分に がでいるといったが、 を連絡し、 がでいるといった。 を連絡し、 がでいるといった。 を連絡し、 がでいるとのとを、充分に のがでいるといった。 ででするとがです。

人事 住 本 ▲八木憲一氏 (清水組) 州日 ※京ヤマトホテル ※京ヤマトホテル 画園総ホテル 画園総ホテル 「画園総ホテル 「画園総ホテル 「一覧である。」 「一覧である。 「一覧でする。 「一覧である。 「一覧でする。 「一覧です。 「一覧です。 「一覧です。 「一覧です。 「一覧です。 「一覧です。 「一覧です。 「一覧です 「一覧です ▲大鹽貞治氏(小林商店)

等學校生徒の姿を認める事が 等學校生徒の姿を認める事が ある▼その生徒が何處の學校 に間選ひないとすれば絵りに 間選ひないをすれば絵りに であるかはさだかでな を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる行為として排撃せ を忘れたる日本の文相ではない満洲に ▽特に父母の扶養になるが知さ憂い。最に流れるが知さ憂い。最初ない結果職争に 専門學校學生々経 あた荒木文相は▼土 た荒木文相は▼土

に決定したので政府はこれに伴ふ に決定したので政府はこれに伴ふ に決定したので政府はこれに伴ふ に決定したので政府はこれに伴ふ に決定したので政府はこれに伴ふ に決定したので政府はこれに伴ふ 總動員審議會設置

新く男の声名を同語するな場合がに同 を関った。 一日の定例関議に附議 でし近く第一回総會を開くこととな でした。 の本書院大長、委員等省大官、 事長青木企書院大長、委員等省大官、 場保官吏、貴素兩院議員及び學繼經驗 者を以てこれにあてよるる

日支問題

念すべい。 英下院で討論 祭を終った 焼膏あって

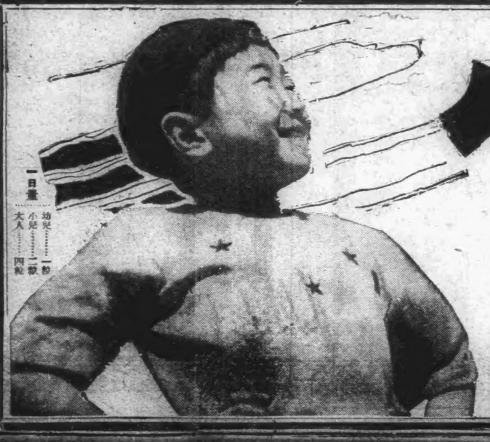
健康銀錬の好季

東我年の好季… 強い太陽 を浴び、新鮮な空氣を呼吸した。 を浴び、新鮮な空氣を呼吸した。 を浴び、新鮮な空氣を呼吸した。

漫き線式 刺きを浴び、

健康日本のシンボルです。

兄童の天地



夏も休まず、柴々と服用出来ますと、 ではく効き、臭しなく、胃腸にも 量で良く効き、臭しなく、胃腸にも で良く効き、臭しなく、胃腸にも で良く効き、臭しなく、胃腸にも ご家庭で樂々と

せひ『ハリバ』に決めて服用を休まないが、からない。とするときです。この夏から肝油は必要とするときです。この夏から肝油は で下さい。と家庭で喜んで服みます。」 子さまも毎年夏の季節になると、

田邊商店

各職人 (2) 本 (2) 本

た如の果に担其件内陌三公主其の 大きる潮、或石他をのに省立の 第も納小心保低小溝上九の で全者作其管利作群り縣管

事業の各項目に就て

裂を避

破綻作 說

支那の國民党と共産党との 合作といふものが到底永續さ にわれわれの見透してゐたと ころであつた。果然最近に至 って、支那共産黨の反蔣態度

を策したが、過去一を領したが、過去一を領したが、過去一を領したが、過去一を領したが、過去一を領したが、過去一を第したが、過去一を第したが、過去一を第一、本の財政の信勢變化によって當面するものと強力の接頭によって個らそののものが漸次弱められつ。あること、更に日本が武力行使によって當面するものと強力を設められてる。また第三國特に強し政府の奥をもたらさないことが明瞭となったのみならす英國の援助をのよめられてる。また第三國特に強し政府の奥によって當面するものと強力を設められてる。また第三國際的地位の低下が歐洲の情勢變化によって何らその可愛をなす日本の地位が更によって防共のの危機を必至とした。

農產資源開發

東来獨佛印度シャム、アフガニスタン、チエコスロバギア、アルゼンチン 第諸國路學生約廿名を招き外 務省市河文化第三課長、文部 省本田學變課長、振興會側か ら岡部、三原各理事等出席の 上協議懸談を重ねた結果振興 會に「文化講座」を設置して 定期的にわぶ一洗學者文化人

三自治政府積極的に乘出す

蒙疆地方無盡藏

横須賀に歸港

に代つて主計長川島禮ス大佐 に代つて主計長川島禮ス大佐 に代つて主計長川島禮大大佐 十萬石、高梁八十萬石その他 変集散地を中心に栗酉七十萬 変集散地を中心に栗酉七十萬 における農産資源の現狀は察 における農産資源の現狀は察 における農産資源の現狀は察 で で で で に お り で に た い で に お り て は に 来 不 野、 宣 化

募集

布製の起伏取外し自在のく幌馬車とし幌は防水帆では固定的の箱型でな 馬車新

ラカト塾、車輪は雅音防のため其周翼を完全に閉っため其周翼を完全に閉っている。 高さ客席より一米) 高さ客席より一米)

種、座席の幅九○糎、耐奥 合前鐵板より客席外部迄 ○ 乗車台の高さ地上より 三○種車輪の直徑前車輪 三○種車輪の直徑前車輪 大側五○種、後車輪七八 大側五○種、後車輪七八 大側五○種、後車輪七八

全部デビュ

七月初旬光

「締切」 等百圓、二等五十圓、三等二十圓各一名 規 定 八月三十 左側のみ附すること を入れること を入れること を入れること を入れること 型圖案懸賞 一日「發表」十月一日本紙

京査組、日の合設

賞金 于新審上 進水式學行

総維製品全般の 製品(絹物を除く)全般の園 ブロック経移田に関し許可制 を布くことに決定、近く省令 を公布するが、これに先立ち

日五十四周七十六日五十四月七十六日五十四月七十六日

八萬七

石斯コンロル

野 勤めてゐるのが人目を煮く、 傷を物語る負傷兵が松葉杖に 約成にはじまり、徳王始め各機 人なるものがある、参列者は と 閣代表の引離の被臨に護い 最高委員はじめ各機關代表、 で選族代表の協香には喪服の 管内各機關、関管等無慮一萬 で最前に額づき、また將校、 でで最前に額づき、また將校、 に 下士官の代表として名譽の職

田日學生のため 文化講座を設置 では日本に學ぶ各國留學生の では日本に學ぶ各國留學生の では日本に學ぶ各國留學生の

滿

今期の

業

本年三月市

野審議や 出振興策 出振興策 のこの新 のこの新 のこの新 で について のこの新 のこの新 で のこの新 で のこの新

大月廿九日迄の七銭五厘

るものと見れない。

計 金金剛金 献 金品「灰板」

今部)

n農工借級はもとより庶民金 り調整や期してをり水利およ が未墾耕地の閉班問題をも含 んで農村開設計畫の今後の進 展は各方面から注目されてゐ る、なほ二 張地域における農

万二千七百十三圓

來着

内地 人先發組

中

國

政

華民國政府=民國二十七年六月一日改正施行

は社有地の管理であり いますります

番四四三三②電り通日朝

科學界の反逆兒たる

淋菌も愈々命數定まれり

淋菌の脳後に反骨あり 淋病は一度罹ったら最後。辣 慢性。惡性今や悉々く日東淋藥の麾下には白旗を揚げる。

新京與安大路

香奉天二

まま 書の

新 大 東

大連電話玉・一西六八番

總務廳人事處編纂 現 在 . 委任官以上收載= 郵稅金拾五錢定價金壹圓五拾錢 =(近刊)

を請ふ。 外務省・朝鮮機器府・消依り関東局・外務省・朝鮮機器府・消

國務院總務廳 の機會に乗ぜんと
を
期地に
陷人れた 對支貿易更生の烽火輝 人事處編纂 く !! (け日支貿易は敵々順風に帆を挙げつつあり、絶好が税率を見よ!本書は輸出輸入合本にして「イン表は第一次改正後の改正で排日開稅と云は礼我が 日支英三ケ國語 圓漬

郵定 稅金拾六錢 合を設置せんと内務局と種々 水害を未然に妨ぐべく防水組 がに於いても治水計量を強化し

換算率改正 連絡運賃の

蒙疆地域内

寫眞撮影禁止事項

日本西瓜の

満洲入り

年義勇軍

安東着入滿

防水組合組織に先立ち

團機構强化

びに同施行令に基き管下七市 中三縣にわたる防空防護計畫 準備を急いでゐたが、やうや く成案を得たので來る七月七 日午前十時より省公署禮堂に おいて全省防衛會議を開催す ることムなつた

午後一時より第二會議室に於門片斷禁計畫につき協議する

敦化縣廳の

合同慰靈祭

内務局の防水計畫

監を開ける

から三日間に亘つて華々しく 中競馬の後を 享けて、今日 で、今日 で、今日 で、 一番明け前

けふの興味は

ハンデキヤ

肉後の馬場、

午後は好調

張家口鐵路局 (張家口州日發園通) 現在農 要在留邦人は支那家屋をのま をしのんで超居してるるが、 をしのんで超居してるるが、

築費六百萬圓を投出し二ケ年 鐵張家口鐵路局ではこの程建

原原尾口合

二着五

吉公昭金北 大 功山和鵬龍

久落斐松吉 保田合啓本福

に入るのが二千五、六百略で 三十五輛に達し、鮮鐵では六 月末から一ヶ月間に亘り鮮鐵 して急溢計畫を立てムゐるが その主なる音響は率天五〇輛

一 音四 第四開進 弄 吉 滿 六春抽一、○○○米 二 八二駒 光 田 中二 八二駒 光 田 中二 八二駒 光 田 中二 八二駒 光 田 中二 八二駒 光 田 中

自分は最初から廿七日の優勝 に立つてゐて左手でもつて電 は別の各チームは昨年より各選手 ぐつたこその一事であら お手出人に けた立派な 前別と気でない 十十日 20 は 1 であった。それは 1 であった。 それは 1 であった。 4 であった。 4

はなった。 若し萬一電楽浦子になったること位は學生々活中よりとしても故に は神聖にしてスポーツの總で 本の何ものたるかを證験して と思ふそれに何ぞやアンバイヤが居 と思ふそれに何ぞやアンバイヤが居 と思ふそれに何ぞやアンバイヤが居 と思ふそれに何ぞやアンバイヤが居 と思ふそれに何ぞやアンバイヤを誤中に援かず又相手の選 すら 手に境界を越えた敵意を持ち かっているかを ひかん ない しょう かん ない は自己の過去の野球選手の地

・ ・ エンを通じて高橋君の技 ・ ・ ・ エンを通じて高橋君の技 ・ してゐる何ものをも見出せな かつたのは小生の感じたまり がつたのは小生の感じたまり がったのは小生の感じたまり

大學教育を授けられしかも立 大學教育を授けられしかも立 大學教育を授けられ、 なき管はないと思ふ なきにないと思ふ て暴力が許される如 で表力が許される如 位の常識の ないする程

はたか

見

陷り遂に登攀を斷念、下

はれたのは高橋 切上である管だの 切上である管だ。 リンジョン基地に入電があつ 加するに決定した旨甘九日カ 能に陥り遂に登攀を斷念、下

め審判官、檢 は合をする等である は合をする等である。 は日年後四時より局新設グラウンドで正規の練習を行ふこととなつた、なほ結成式を行ふこととなった。なほ結成記念に 世日新京クラブを招聘して初 は合をする等である。

生

人の自由性

長熙善郎

清

平成町二丁目五ノ四番地加藤 千代治氏長男久長(四月二 十六日) 本日本橋通八十四石田壽一氏 保・四月二十八日) 会自菊町二丁目五番地佐々木 修議氏三男清(四月二十六日) 本東五條通十六番地宮崎正氏 實(四月二十九日) 本東五條通十六番地宮崎正氏 質(四月二十九日) 夏季特大號

内野 変を で 水 直 の 、 直

ガジる爆歐ンサンタナは

人陸農業開發と

の醫學族 中九平一本港邦男 佐藤秀三



教師に良し をおいるなが、かく であるため、かく のからにし 七朝を占む

吉林市公場燈路股の調査によれば、市内の阿片中選患者は 中五千七百八十六名、女一千七百九十三名、合計七千五百七十九名で、そのうち八十名 の未成年者があつた、これに

を ラットホットに整列、谷口警
本 れて勇識伊拉哈に向つた、な
本 れて勇識伊拉哈に向つた、な
れて勇識伊拉哈に向つた、な
れて勇識伊拉哈に向つた、な
の
は一行中七十一名のトラクタ

七千五百名突破 阿片中毒者

制新国州灌

する座談會開催

傷兵廢疾程度。基準 傷兵廢疾程度。基準 (智寶河灣灣及縣的寶歌) 信夫清三郎

日本經濟於分限思想·
成美

戦時外交の

一元化

敗れるから記

加舶で文化

作の折、謎國の神と化した教 作の折、謎國の神と化した教 化熱警尉佐野芳郎以下四名の 経三時より教化縣慶前庭に於 で遊儀委員長に縣長、副委員 長に三ヶ島副縣長となりいと も盛大に執行された、参列者 は、日前各國體及び日浦各有 志多数参列を見た

臨分する旨敵軍委告した の同氏を通じ一般會員に猛省 かゝる不正行爲ある際は断乎 かゝる不正行爲ある際は断乎 ので特務科では金國策の総行 をなしてゐた郡電が判別した をなしてゐた郡電が判別した

)時日 影經本 時 時 時 時 時 時

局の俳★ 操設優 保生

新京商工公會では同會主催の下に七月一日午前十時より櫻上に於いて全市煙草卸商及取た煙草の公定價格について卸売間によく徹底せしめ亦現在の營築が如何なる状態にあるか業者の意向を聴取した上今後に善属せんとするものである、 間集まる業者は三十五、

公司市况

泉

臭

支米茶 入荷

古里

程斌歸順

東洋永遠の平和の礎石滿最開 東洋永遠の平和の礎石滿最開 東洋永遠の平和の礎石滿最開

施局では他選輪機器との貨客を 連絡運送に適用する換算率を を変施することとなった 一、歐亜連絡貨物運賃及び日 講連絡旅客手荷物運賃及び日 が平荷物連絡旅客手荷物運賃百米 十七銭 ・シベリア経由 下ルにつき三百四十五側五 十七銭

率天省では瀬田岡の東法なら

鑑治前法部派遣日本電學司法を双肩に 電流 対域官一行 十ケ月振り歸京

の馬用 は

大石茶舖 世

新

滋養タツ

プリ

一第二漢柱 元 田部井

勝馬豫想表

第十三抽古方 一篇一 紅 燕 於 三撫順筑波 ※ 三撫順筑波 ※ 三人表 ※ 時新州惠英三公抽古 京至香駒派初富 本語至素だも3、八 ることに決定、今年中には全に明朗な從菜員住宅を建築す

最近率天市内の歯科医中に金 ・特殊扱ひにより拂下を受けて るる金歯用の金を金屑として 他に轉資する不正醫師がある ことを聞き込んだ率天警察慮 う、率天旗科医師會々員四十 三名の中七名までがこの不正 部基礎工事を終る豫定である 奉天の歯科醫達 接制を研究し多いのでは、 めて廿九日

新京輝着はとにて及川司法部 新京輝着はとにて及川司法部 東京地方被撃艦次長はじめ約 東京地方被撃艦次長はじめ約 市年八月以来十ヶ月にした、 一行中唯一の日本人鮫島 市年八月以来十ヶ月にした、 で時力にで勝利に至左の加く語る 市年八月以来十ヶ月にした、 では野頭にて左の加く語る に手を向上さき渡縄に入り各専門に を向上さきなままです。 なが、 を向上さきないた。 を対して をが、 をが、 を対して をが、 を対して をが、 を対した。 を対して をが、 をが、 を対して をが、 を対した。 を変が、 を対した。 を変が、 本来門等目 本来門等目 本 花園町二丁目五番地田中豐 古氏長男一郎(五月十七日) 本 次男一彦(五月十六日) 本 外野町二丁目五田口安則氏 次男一彦(五月十六日) 本 中央通五十番地高橋直泊 大男子郎(五月十七日) 本 中央通五十番地高橋直泊 大男子郎(五月十七日) 本 中央通五十番地高橋直泊 大男子郎(五月十七日) 本 中央通五十番地高橋直泊 大男子郎(五月十七日) 本 中央通五十番地高橋直泊 大長女第二十四番地高橋直泊 大長女第二十四十七日) 本 東四條通入番地高橋直泊 大長女第二十四十七日) 本 東四條通入番地高橋直泊 大男子郎(五月十七日) 商况欄籍

| 1000000 大気を ール農 ジポ村 ユル生 タ活 頃(瀬と巻) 佐伯米子

地は世間の誤解を招く事の可能 腕力の行使はルールに示される は世間の誤解を招く事の可能 際方の行使はルールに示される は世間の誤解を招く事の可能 際方の行使はルールに示される は世間の誤解を招く事の可能 際方の行使はルールに示される は世間の誤解を招く事の可能 際方の行使はルールに示される は世間の誤解を招く事の可能 これの行使はルールに示される は世間の誤解を招く事の可能 これの行使はルールに示されていた。

- 4等しきスポーツがあるとす ・スピリットを了解 るれば常局は深くこれを根絶す 精神の向上技術の殊 米関より移入された野球とは 事を切に認れ尚野球 中世共精神はやはり正しきス 草をも半

吉林満俱チ 愈よ誕生

(組詩、章) 隨想

深尾須磨子

のお知らせ (大連) のお知らせ (大連)

九、三〇無濟市況(東京)九、二〇氣樂通報(大速)九、二〇氣樂通報(大速)

京

新

(泰庆)

・ 三〇北浦の時間(哈爾) ・ 三〇北浦の時間(哈爾)

古林高等師題思校教授

〇〇經濟市況(大連)新

、兵士の合唱

ふの番組

新京 放送局 Y

京無

六、二〇子供の

夜

神〇〇長祭二

(奉天)

絾 東京外山子

〇〇時事深說

(ではが、ではなりませんというなものをとり去つたやはらかいなりををが非常に好適ですが、かけなりませんが、

レン ンズかびをそのまゝ い ((にしておきますとか びのためにレンズ面がきづつ がのためにレンズ面がきづつ がられますので、くれん も は一度使用すると限のあたる まく 排拭する必要がありま

(火) 火を通したものをい事ですから間にあはないではかい。一からいないではないではないでで了ふといふ事になりがちでないでです。

でなるべくやはいとレンズ面に傷む

は職機鏡などのレ しやすいものです が、この場合無暗 が、この場合無暗 が、この場合無暗

息を決きか

そのあ

1〇、〇〇家庭講座(哈爾濱) 1〇、二五科理獻立(大連(一〇、二五科理獻立(大連(一〇、四〇經濟市況(大連)

體_

- 11 11

四、四〇経済市況(大連・新

七

四〇配会講演 同法部次長 同法部大長

四五新日本智能

風曲(奉天)

公 男 勞

P

り したため に抵抗力

トルの殺菌はその一つの方法です、これでもつとも稱揚さです、これでもつとも稱揚さです。 れてめるのは鹽素法です新式

梅雨から夏にかけて食物が非

第に腐敗し易い事は御承知の 通りですが、時に小さな器に 立るをして長時間保たせようと いふ子供等のお辨當には、な は一層細まかな注意をしてい たよかねばなりません。御飯 が着者の過去がでも

お支度くには眞心こめて

ズ

0

お

B

で肺炎に罹つたといる場合、

ですいから

men

から腐り

易

10

學童

のお辨

とは重大な問題です。

版締規則で命じてあるくらる ない程度の清潔を保つことを ない程度の清潔を保つことを ない程度の清潔を保つことを

ル衛生問題

Ser

1,

な

h

大掃除の際十分にして置くことです。次に床下をしめらり

につく

0

い日に乾燥させることですがせん、天氣のいゝ、風通のよせん、天氣のいゝ、風通のよ

てしめりをなくしよう等とするのは量をいためるばかりで

です。いろくの薬をつかつ気を吸收するタオルの乾いた気を吸收するタオルの乾いた

こう るやうです。そこで正しい疊とが、最大の原因をなしてゐとが、最大の原因をなしてゐ

傳染病感染の再吟味ご 考慮が懲設しい備方法

だんくと消費されるので、 被します、しかし鹽素は細菌 や有機物時間の經過とともに

大学されてのます、又版年前でから鹽素とともにアンモニアを加へると、殺菌効果が増すない。これは鹽素を加へる前ます。これは鹽素を加へる前ます。これは鹽素を加へる前に強めアンモニアを少量加へ

中

0

| 有景は定 ます、これは

一の○・三ミリグラム〉あるとの物質がなければ、百萬分の

萬分の○・五から○・二○随心要があります。今日では百

■たなり自生といふこ 場の しゅの水の衛生といふこ 場の ないまでも電要な存在と にっ ないまでも電要な存在と にっ とが出來さす、更でも、この理窟でも、この理窟で

中に有機物その他の被骸化性では皆液體鹽素です。プールでは皆液體鹽素です。プール 00 画剪 水



















絶對にいけません。學校から いことです。次におかずの として注意する (材料) ことは、

には最もよい條件だといふことを忘れないで下さい。なほは別の器に重ねる二重辨當が記ましいのです。尚朝になつてからあわて」な辨當箱を洗

路をとる事が属々

11

淋病が感染すれば

どんな徴候が現れるか?

ですです。
一、尿道より淋菌が侵入して
本を性原道炎及び勝った。
本を性原道炎及び勝った。
本を性原道炎及び勝った。
本を性原道炎及び勝った。
本を性原道炎及び勝った。
本を性原道炎及び勝った。
本を性原道炎及び勝つです。
本を性原道炎及び勝つで、
本を性原道炎及び勝つで、
本を性の症状を呈す。
本の症状を見す。
、のに対し、
、のに対し、

妻の私迄が感染しはしないか

お淋病に罹り困つ 人妻ですが最近夫

下さいませ 〈高子〉 と色んな確防を致して居ますと色んな確防を致して居ます

救急法の薬品と材料

中毒 0 際の

育薬として定評のある純和

中一段の注意を 大通警察署に於て 大通警察署に於て 大通警察署に於て 大道警察署に於て 大道警察者を以いや で活動を は前生思想 で活動を はないや **防疫漫答**,配布 襲ひ來った傳染病の季節 心掛けませう

ちのやうなも 中央通署で全員に 物が通りにくいの 合がみな好ま

んや先生方からも注意してい

お母さ

質みられません、プールへ入てが以前ありましたが今ではてが以前ありましたが今では するに至って2 便 所

付屬設備の割れの見たところ ろでは日本の

通しのよい處があつたらそこだめです。必ずとり出して風 だめです。必ず

なシミで全體が で全體が で全體が からつとうしなるまで丹へ 又乾いたタ らよく と注意して時間をからよく と注意して時間をか です。卵鳥 ためと早く柔かくするため 青いうくる豆は色を青くす 即為などは ものですか ものですか

サカナツリ

パケツニーバイツツタ

カニメガヒルネ ユコヨ小川

サカナツリ

アシ

汚なくなつてしま につけて全體を終 につけて全體を終 を絞つた手拭で**

御注意下さい

やカバンに入れつばなしでは やカバンに入れつばなしでは やカバンに入れつばなしでは

漳事件が相當多いのですから 腐敗しやく、これから來る中 重曹を使つてゐますから一番ためと早く柔かくするために

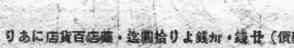
上海(新京神莊館) (新京神莊館)

起り易い時です。お子様のお子様の身體に最も異常の格雨時から真夏にかけては キッケ等には、古來から保 この季節に起り易い消化不 なりません。 母様は常に敏感であらねば 健康上の些しの變調にもお を快方に向はせるので好評

自慢でお答へになるでせら ツト教命丸育ちとお母様が お尋ね下さい 元氣で育つ れたばかりの乳が見にも安て、些しの馴作用もなく生 漢薬字津救命丸が最も快よ 薬獨特の温度な効目を 心してお異へになれ、 金色小粒の服み易い小兒薬 く奏効します。 して、色々なお子様の病気 + 現和は漢

健やかに 复負けもせず

見なら 胃腹も壊さず



7

貪

(『文學界』七月號)―

である。 この時、私達ははじめて細 卓、椅子を選び、火鉢に火を 司を かに彼女のこの小さな家を眺 起した。 たきな猫が横まれてあるが つたわけだな」 さ に大きな猫が横まれてあるが つたわけだな」 な実が無い、髪の中の溝割も 女司書が悪い、髪の中の溝割も 女司書が移り見えない。壁には時計が掛 私達が何を笑つてある、だが振子は書を立 らないのはその新しく楽た女 の中年の婦人を連れてやつて こと極めて姿易である。 に忙しく、そんな事に注意は た、智然その勝下にしつかり に私達はあまりうまい方では た、智然その勝下にしつかり に私達はあまりうまい方では こと での「関技」は時間を要す たっぱんでのよう。 高い窓 がその夫に復讐した。だが彼女 つでもしてあて、まるで女尼巌みた でに忙しく、そんな事に注意は かった こと極めて容易である。 こ に忙しく、そんな事に注意は かった。 こと極めて容易である。 それ ない、やがて小君が夜童を報 かった。 こと極めて容易である。 それ ない、やがて小君が夜童を報

トラの活動

と長井の顔 そ

W)

(II)

虚で物にある。 を表する。 はあままもら

夫人 『あふさう』

『支配人様がお見えで

夫人 受話機を置い

へ消える ガンスホー

過ぎた俠氣

印にワイプ・イン〉肚大な(音樂の爆殺と同時に揚幕

に乗つて 正しく動 のででである。 に乗って 正しく動

た人をあんなにされて あな人をあんなにされて あ

鏡台の横に電話がある 古風な

ローズアップン での鏡に映る思美の顔へり

恵美 胡弓を持つて母へ寄 感じの速度で(カット)

〈全景)

りや妾だつて断然層態でよりや妾だつて断然層態でよって断然層態である。

夫人無言 さつさと受活機

美代

許して…

忍べなかつたの」

榮光悲歎 (五)

展井それを無しながら 紀 長井それを無しながら 紀 美代を外へ連れ出さりと 多めてゐる 矢息は大碌で のか言つてゐるのだが 混

長井 『何!!やめろつて早度の家は主として外人相手のバアーなんですが……… 貴女の都合で「僕の家へ來 てくれませんか……ホールなんかよりは取入はい」で

手の

in

徐々にしかも強短な力を以て 見を痺れしむ幾多の觸動が 見を痺れしむ幾多の觸動が

25

元のホー

都民事

記美代

代『やめろつて管はれ

生

槇 叉 足の

欽 指介

「翼の道」改題ー

て来る で で で で で で で で で で で た

人の気配に

意い

智葉をたるく雨・

紀美代のアパートへ内部)

近代生活に摩滅し消耗した神

美代 力無くホールを出

ルの出口

願します

『え」…

這ひ上る

送る長井……鋭いそ

生に喰ひ下る 生に喰ひ下る 生に喰ひ下る 生に喰ひ下る

動後退全景) らみませ 会井 『農は……農その者に 長井 『農は……農その者に 紀美代 紀美代 60 『農は親切ちやよ……」 『世の中つて皮肉な 『まさか貴男にね

#2 『儂には金があるぜ金 志村と紀美代の で 井 代 青葉をた、く雨 長井 雨に向側の家角に 長井 雨に向側の家角に 長井 雨に 底力ある聲で

その記事

い御災難

志村

窓際に寄る

そして 移動)

の神経と側動する

これに應じて

廻志村

朗らかに室内を歩き

外を見る ・ ペインディ

屋根の遠

ネオンサインが明波

紫外線・熱帯的熱量を以て脳

都會病者の生殖器とを

パラップ)

射する

起美代・ 長井 の雨の中を . 「ありがとうござい

も元氣になったら働くよ』 事はみんな正しいんだ。俺 志村『いゝんだよ君の言つた

二人でうり

する

諸問題

文學

に

關

(2) 現實に在つては抽象的に時にようからら。
あけず古くして新しいといふ感か」を表類はも離れ環境と関係ない、すなは も抽象的に大づかみに文學を表別を表別を表別の変配を受 理解した所から生じてある。 見ずに抽象的に表現、形象の抽窓 ることが必要である。とものである。と海人のと対し、いふ感か」を教育と生じてある。とずるに対しいといふ感か」を教育と生じてある。とが必要である。とものである。と海人の所謂「人体ふる正にその人のと社會との社会とするのである。との動と特殊的に考察すまた。これは哲學を述ぶるまさにそのと社會との社会となる。とれに対す。ことである。と海人の所謂「太不職」の正常を助りな者のに対す。ことである。とが必要である。それには、これは哲學を対すがならない、当人に対するのである。との動と特殊的の角面がある。とするに外ならない、哲學をである。とれはデースを貼り封をしてしまふのは、設論論から反映論はならない。単に子流一律のはならない。単に子流一律のはならない。単に代へんとしては、認識論から反映論を対するのな姿を対するのな姿をが、動名とは、認識論から反映論を対するのなどの、としては、認識論から反映論を対するのなどの、としては、認識論から反映論を表の創造過程と近い、認識論から反映論を対するのなどの、表述ははじめて知ら、としては、認識論から反映論を変をがに彼女のこの小さな家を挑れなかっためには、記述はなり、文學、整備と社としては、認識論から反映論を対するのなが、動名とはすでに贈した。反とな意情の創造過程に導入としては、認識論から反映論ととしては、認識論から反映論を表の創造過程に導入を対するのが、対すなが、対すなが表述はないのののが表述ははじめて知らしている。 大法等をすらりと藝術過程に た法等をすらりと藝術過程に はその反映する藝術的員理を測定するにある。 整術的真理を測定するにある。 とするのであるといる理論に差した結果、 をする質摩を以て文藝作作品の價値 たがこれは矯正された、かく とする傾向は清算されたと言 へやう。これが文學理論のは表して限べ立てて とするがに表るといる理論に達し たがこれは矯正された、かく とするがである。で変形の質理に をするがである。で変形の質理に をするがである。で変形の質理に とするがである。で変形の質理に をするがにまるにある とするがである。で変形の質理に を対して更に遙かに前進 せねばなられ。一完一 (大藤純譚) 命題を蒸慶として題材、主題の反映であるとする、かかるの反映であるとする、かかる 離れて我々の頭腦が自ら製造 をあつて、決して客觀的現實を あつて、決して客觀的現實の反映で をあつて、決して客觀的現實の反映で がに來たが、老葛は時計を取り出して見ると、おや、もう 中一時だと言つたものだつた しまふ、もう學校へは霽れない。この惡憲芝居ももう續け られなくなつたのだ。冷えて でやるわけには行かね。だが はやめると言ふ、私達は朝ま でやるわけには行かね。だが 女司書の家はこの一部屋だけ で、ペッドも一つだけだ、こ いでまさか一緒に襲るわけに は行かね。斯くて、私達は朝ま は行かね。斯くて、私達は朝ま 女司書は考へてゐて、その意 見を述べた。 「私のペッドでおやすみなさ いよ、得ひはしませんわ。」 「あたた」 「何處か向ふの家へ行つて解尋れた。 私は老葛と一緒に眞面目に

ますわ。」 「しかし萬一、莫さんが歸っ て來て見も知らぬ男が二人寐 たるるのを見たら飛んだ事に なささらに美つた。だがやは りそのボケットから鍵を取り 出し、立ち上つて箱を開き、 綺麗な麻卷を取り出して來た それから前からある模様入り の蒲園を捲り、枕を添へた。 「いゝわ、おやすみなさいよ り狼々が來たつて、私やつゝ

を床を離れた。老葛は眼を勇った、幸ひ何も事件は起らなかった。だが彼が出て行ってから一分と褪たずに、私は庭をあったりしてるても関いた、びかつた、扉口にははやくもりかつた、扉口にははやくもりかった、扉口にははやくもりがった、扉口にはなった。である。そしてそれはまさに 蒲とまちんとしてから女 間書は子供にでも言ふやりに 目のた。それから嫣然と笑ひ にのうりなびをかかつ引

会費五十 十十十二

相相與與

る単

る主

馬場

藝

本三井宮雄氏設別會 日午後六時ママトホ 開催、倉

踏み込まんばかりであつた。 いけない!私ははつきりさら 大きな男はきつと女司書の夫 であらら、それに生憎部屋に は私一人だ!私はこの男が這 入つて來るのを見ると慌てゝ 目的も無しに卓上の籍から牌 をつまみ出した、それから及 永久なる存在を以て 超然と の上に の上に 光潜し、光潜し、水潜し 管に射る管に射る **機能する** 標たる目的でもの 気坑の上に擴る カ 办 の影より空 赤き酒。 つは 舱

續

郎正

木不

如

支那の

四円10銭 兜兜 • 除州大 俵 間 友 獨 石 會見 の危機 會戰講部大

野

秀

क्त

三秦公司

はゆつざ

トラック

に依る

中央通警察署前

野

村

重

太

郎

彌

平

國內閣 改造後の新展開 威·伍堂卓雄 丸 浩 助

長期戦の特質を大陸政策の方向・ 策一元化の進展過程·鯔山政道 局の新段階と經濟政策・原 濟司令部を設置せよ・ 垣外交の新局面・小室 ·三宅晴輝▲

人會隨意

央國の看板、民主主義 造 き剝ぐい 列 淵思 浦 T 利

印 三友社 刷及帳簿

電話金融 低利で放速に 白金·金·銀高價買入 横濱屋質店



ピスト辞集

宗給教授

質所 ・ガー・労都キネマ前) ・ブライター

電話③五六六九番 電話③五六六九番 トリ

致します。

大和通四六ノニへ堂

ぬあんま

今辨慶整骨院 お茶と お茶意具は



(海州の方は)





日本 本文明 大魔グ 植 民族 の傳統的 策 炯图 富真佐 來古 論·古 垣 怎 男 如是閑 鐵郎 芳雄 豐子

解敗戰後の蔣政權の行衛山 チェッコを繞る歐洲政局・清 歐洲の危機は去ったか・伊 傳正 正德 日

者者共に本質へ 自疆會

ラック の御用は 電話(3)三人四五 関量学院へ開発を受ける

外

耕

:

備設生衛房投 與東書展別滿路馬上西 所房援 不松 1000-(2) 新聞

· 经

ימ

電報品公文紫雲社

本が記して、 一部記して、 一記して、 特効藥安心散 帝町三世9二六人日 小原整骨院 小原整骨院

古物

光八商店

■○六○四 |

月東明 電話3五九五一 網各官庫 明本官庫 明本官庫

日案內

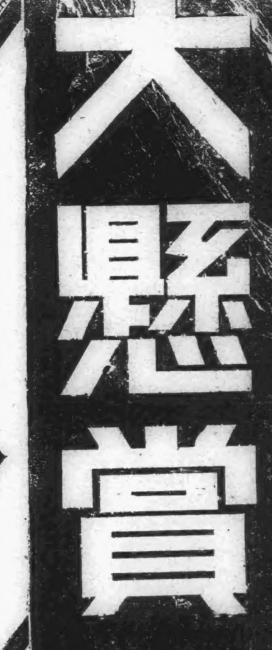


64泉温

清水堂鍼灸院

話及金融 か融即時・長期秘密 施士アメマ金でお買入が出来ます **荻本電話店**



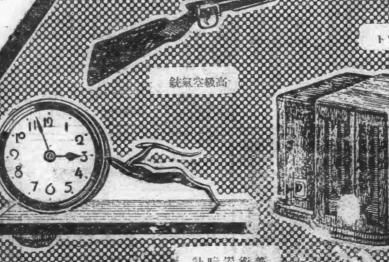


名百五 ルオタ入箱美優

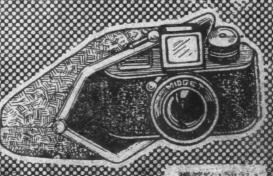
袋用試**磨値ンオイラ** (金額のお料(まず)

トッセ・オヂラ (5) 名十六 計合









正宗の銘刀に劣らぬ切れ味を

七月中に完成の後定であるが 同製作所完成の上は一ヶ月三 所して同社では目下のところ 職に難く関東国倉庫を通じて 電融係者に限り六十圓五十銭 で頒布することに決定した。

凄いぞ切れ味

鐵刀の眞價

上り、専門家も肥前の忠吉 である、處が聴説は、古来 である、處が聴説は、古来 である、處が聴説は、古来 である、處が聴説は、古来 である、處が聴説は、古来 を見て、十萬趾員に傾の を見て、十萬趾員に傾の を記した位である をで今一つに乗るを目本情 を思いたの持つ神秘的精 をで今一つに乗るを目本情 のより のはのはある。 のはある。 のは、古来 を思いたのはのの忠吉

本刀が非常に不足して居るとの事に仍て非常な類電を以て激勵的命令を下されたのである、と同時に其い際があるとのおいたのである。

る切れ及双コポレ に何れも見事に の据物斬り斜斬

双切れ及双コボー六貫首

事變記念日に

在京部隊忠靈

にて中心に五分丸の青竹を性能は次の通りである性能は次の通りである

総人會新京支部の手を継て二 會館執設資金に五十脚を関防 等平氏夫人コマツさんは関防

最高に対象の国際の国際では、

國防會館へ寄附

滿鐵刀の性能

軍關係の註文殺到

治外法権撤嚴移最初の首都警察職管下六警察署、二消防署 外長森大街消防署をトップに 頻来實施中であつたが三十日 順天警察署を最後として一ケ 順天警察署を最後として一ケ 直と一息ついた、闘ロ副總監 でと一息ついた、闘ロ副總監 でと一息ついた、闘ロ副總監 でと一息ついた、闘ロ副總監

林水力電氣設電所ダムの電況 放送を行ひ建設事業に従事し てゐる一萬五千人の作業振り や道捲く雄大な水の流れを建 さずマイクに收め全日浦に中 総放送することとなり既にそ の準備に着手した、尚七月九 日の吉林川祭りに當つては船 中より花火、舞踊、音樂を放 中より花火、舞踊、音樂を放

0

關口副總監、

管下打診に満足

段と整備

七月の清夜に青年の火圍み

潑刺示す銃後の意氣

▼七月大 ▼七月の異名(和)文披月 文月、棚樽月、女郎花月 文月、棚樽月、女郎花月 (漢)上秋、盂秋、瞬月 新秋、監秋、寒則

大署 二十三日午後六時三十二分 十二分 小暑、八日午後四時三十

鼓鼓 廿四日日

新月廿七日 能 草 草 質 層 元朝盆會

京籍球大會

年三清しれ

一張線に、同れ の京解及び安民協 であるして料金は、 あるとして料金は あるとして料金は

かなして今月中はサービスを かなして今月中はサービスを

最大震幅四六

ミクロン

地震調查結果

頭の

夏菊、唐菖蒲、 協和會創立記念









5

0 嫌

な種痘

な

八島通り古野醫師が研究

上校、伊從少佐、平林治安部 最高顧問、育成所長井崎上校 以下關係者多數參列の下に蘇 以下關係者多數參列の下に蘇 の大半は三江省腫賊跳樂地帶 出身であり原除歸任後の活動 作は第一軍管區輪兵中尉鈴木 生は第一軍管區輪兵中尉鈴木 生は第一軍管區輪兵中尉鈴木

の傷跡が成長するに随る

引は廢止致しまれの如く市内バスル

ンな家

された赤ちゃんが免疫性を 持つてゐるといふことが判明 した、しかしこの場合の免疫 性がどの位持續するものか、 また姙娠何ヶ月目位に母體に 種痘された胎兒が最も效果率 のある免疫性を持つかは今後

新京交通珠會社

します しま

ること

凉味盛 る電波

野萬壽夫氏がそのお僭者さん

済む方法はないものか

電氣機械

見習工数名採用す

電氣機械に開する技術的希望者

側安大路五二六

森電機製作所新京支店

6

せ

七月

一日より假營業を

7

- +

七三

シャッ白鉢券変で午後五時新 情を新にするため七月下旬在 京藩織青年社員を總動員して 京藩織青年社員を總動員して 京藩織青年社員を總動員して 京藩織青年社員を總動員して

を 自のボール股下送り等の競技 を行ったのち青年の火を関ん を行ったのち青年の火を関ん を行ったのち青年の火を関ん を行ったのち青年の火を関ん を行ったのち青年の火を関ん

了すると共にこゝに懸案であった管下各署の管轄區域として新たなスタートを切らんとする時、吾々は益々非常時局下の警察官としての認識を深め一層一致團結市民の期待に添ふの決心である。

吉林水電、 川祭りの實況など

警察官講習生 軍官鳩通信生

が、更に今度は八月上旬に吉放設を試み成功を取めてゐるが、更に今度は八月上旬に吉 三十日午後四時より協和會館 選手の敷地で協和會、營繕器 高局、市公署の關係者多數出

は現在の中央本部事務所がおこととなつて居り、完成の瞻ととなつて居り、完成の瞻ととなつて居り、完成の瞻



運轉系統

監を更に記すと左の通りで學 監全を測してゐるが、主なる の選手を引してゐるが、主なる

けふから變

反應の

たのがこの研究の始まりで、たのがこの研究の始まりで、たのがこのいに疑問符を打つから、このいに疑問符を打つ 結果母體が姙娠中に種痘を行助れる患者を實験合に研究の

協和會中央本部 增築地鎮祭

券の利用を會

變更された、交通會社で スの運轉系統が膨よけふ

も双切れ及双コポレなし 一册約六二○頁のもの)電 一册約六二○頁のもの)電 日は約平分位まで切れ何れ 日は約平分位まで切れ何れ

便利になる市民の足

一後三時に改正

日まで午ば 前八

御待ち申して居ります何卒倍舊の御引立の程御顧ひ申上ます新鮮にして美味な季節向の御料理弊店自慢の壽司のつまみ喰ひ共に取揃へ隣家割烹「やぐら」にて致しますと「や歌のの「やぐらずし」今般内部改造も大略整ひ七月一日より假營業皆樣御贔負の「やぐらずし」今般内部改造も大略整ひ七月一日より假營業

丁目

執務

話(三)六

七

八

九

来る七月七日の支那事要一周 年記念日にあたり在京各部監 では同日正午忠整塔前に全集 一般政將士の英璽に對し一分間 の歌藤を行ひ、皇軍將士の武 ・最も張りき とAなつた



が発しその嫁職は神主させるのは大津関東局徳長である≪先立つての内地出張

所究しその嫌識は神主さんも 通付かぬほどで昔髪らぬハリ をリボーイの面目を遺迹なく 変輝してゐる▲新調の山高帽 の鉄がすり切れてゐる位ゐの 活躍だから無理もないが…▲ 第を示してある「語を示してある「語 人がら言はれる位ゐにしてゐる「神がかつて





京

代表② 五〇 ② 五〇一二番 ② 五〇一三番

三十日 戦國都を襲つた地震は がり驚かせたが解象合調査の 結果に依れば左の如くである 一、時間、三時三十八分十八 秒初能十一秒五、約一分間 一、最大震幅四十六ミクロン に、最大震幅四十六ミクロン がの此半面を延ること八

滿洲國官吏消費組 合

寶生流

0

方々

します尚早朝割へス路線及料金の豫而御報知 视町二丁目 〈御問合せは電三―五〇九六番へ〉目 太 子 堂 二階

REGALLERY MILHE GALLERY MILERY MILE



海相談したいと思ひます。 国内が高い事は同好者和集の不を網接書にで類集したいとない事は同好者和集のて 會を組織したいとない事は同好者に取りて甚だ常しい



都沿を扱いて、横目で、

順の下の

いまや彼の右手は伴びて胴経を

◇◇◇◇◇◇◇

發賣元養命酒本舗出張所 電話 讓谷二八四七書

東京遊谷属上通四丁目中京遊谷属上通四丁目

店百全

に貨園有

ま食のすれ郷

女中や書間が、

脱な脳をして行

く探り寄った状をと。

と、無階に聞くなってい

反り返

ソッと学を扱け出した。そして彼

のである

うに万瀬の大小を睨みながら、満ればを拭いて、横目で、怨やしさ

光つてもる。 ・戦が、ギラギラとなりのそうに

「る人概だし、明日は長七郎さ

しこんな

能之助は選赛人がうまい。けれ

と無ふといあまり好い気持はしなと、乾だへ間滑切が来てあるのか

三味太藤の質が観えて來る。

すると此方の窓では、際と様子

出かけまし

なにしる武士といふ動れの優重

四 現代中を 物館へ ある 大のご

日の利きやうまで、

だから女中や春町が来て、なに

いったらお話にならない報答し

通り、枕もとの開後を観に、窓びる。だから長七郎に含ひつかつた

寄る妖馬の南松を関に掛けようと

して、わざと、腹た髪をしてゐる

ねばならず。その際話なこと

糸を操られて贈ってゐる人形で

似之間は人形である。長七郎に

こ 好戦しすんで、

やがて一同、

内である。

殿。

膝。

栗

毛

(三十九) 岩: 田地

竹

太、兵小郎の三人組がその後か 闆 掛る

のだと想ふと、お互に、覧ぐどと いよいよ是から仕事にかるる で一ばん賞芝養を引いたのは 郷に見けて行った。 時を得職に監題り、旅籠の夜は次 新くて、座々の話し撃も、いび 複数は、 まさに無したのである。 室々の話し難る。

と既を上げた。 難を傍らに押遣るとソロ

他之期の全は、妻二階の君の職 他之期の全は、妻二階の君の職 「など、ほんものよ長七郎、三の下、テピリーへと関防をきが、間に引かかるとは臨知らず、 はなか (臓れない・脚脈いが、間に引かかるとは臨知らず、 はなか (臓れない・脚脈にが、間に引かかるとは臨知らず、 響の途で、順々に解放つたのも皮 いだものよ、覚いだのは姿だけ 帳場に跨た大竹屋の審選が、職 宿の魔器に指替 で上り、機関の膨から、削約の企 作の提山気小郎。酸はづれのヒ 概念の様子を窺ってゐる。 みながら、時々眼をギョロつかせ 更にその隣の宝をみると、のつ 壁となりでは疾患の市松。とれ 眠れない。薄葉い行性

ら楽込んで欲た。

削虫殺力强

佛英伊日

許特賽專

和

から

環が悪くなるにめてあります、殊に、お産が近づ り痛んだり、手足や腰がツ きますと、足や腰がツ きますと、足や腰がツ が、是は凡て血液の先 なかつたり、氣分がイなかつたり、氣分がイ ま、にしてお産が悪くて、お乳が少なかつたり、交色々なが悪くて、お乳が少なり、変色々なが少なり、であるなが少なり、であるなが少ない。 あります。 こんな状態を、 其の

身體が丈夫でありまし でありますかち、 解程 でありますかち、 解程 でありますから、 解程 頭痛がしたり、

んで居りますと、T合 遊出網の養命酒を飲 遊が、産前産後に滋 て、産前産後の身體 此の養命酒を召上つ 此の養命酒を召上つ を丈夫にして下さい を実施でである。 を実施でである。 を実施でである。 を実施でである。 を実施でである。 を実施ででいる。 を実施ででいる。 を実施ででいる。 を実施ででいる。 を実施ででいる。 を変える。 を、 を、 を、



印に限る

信

殖える 、「場二本が、サイダーニ打分の大量に當ります カルビスは七倍に割つて召上ア てすから



爽凉·整腸 滋强飲料

赤膏 紙紙包包

大場二本入化粧凾

●廣告 0 御用命は二電野三、三三〇〇番への

蠅を強減!

